

おおごえ

令和4年4月26日【第2号】

「夢をもち 心豊かに たくましく」

○自ら学ぶ子 ○思いやりのある子 ○じょうぶな子

児童数	1年	7名	2年	13名	3年	5名
	4年	6名	5年	15名	(まつのき2名)	
	6年	11名				

5月といえば〇〇

校長 武内 知江美

5月になると、とても爽やかな気候の日が多くなります。草木の青さも目につくようになり、新鮮さを感じることも増えてきます。本校のシンボル「けやき」も日に日に青さが増して来ました。

さて、「5月といえば」ですぐに思いつくものは何ですか。「5月といえばランキング」の上位にあったものを五十音順に並べたサイトに次のような言葉がありました。どれも5月らしい風物詩です。運動会・こいのぼり・こどもの日・ゴールデンウィーク・田植え等、他にもたくさんあるでしょうが、みなさんの「5月といえば」は何ですか。

大越小学校の「5月といえば」は、大きな行事が上げられます。まずは、17日に予定されている「田植え」。これは大越美土里の会の皆様の御協力で行います。5年生と6年生が手植えを体験します。田んぼに入るのも初めてというお子さんもいます。土に足を取られる感触、苗を植える手の感触は説明を何回されても、体験以上に理解することはできません。そして、全校児童が楽しみにしている「大越地区ふれあい運動会」。29日(日)に予定をしています。今回は、第10回記念となりますので、ぜひ、地域の皆様と一緒に実施できるとよいと思います。新型コロナウイルスにはまだまだ気をつけて行かねばなりませんから、感染対策を十分に行いながら安全に取り組めるとよいです。



4月14日撮影のけやき



4月22日撮影のけやき

離任式

4月に異動された先生方が、お別れをしに大越小学校へ来てくださいました。すでにそれぞれの職場で活躍をされている事ですが、1日「里帰り」のような気持ちで、懐かしく、温かな気持ちになっていただいたのなら幸いです。子供たちはそれぞれ「里帰り」する先生方に喜んでいただき、作文の用意や交流の時間の準備をしてきました。式では、先生方のお話を一言も聞き漏らすまいと、姿勢良く静かに聞いていました。1学年進級した立派な姿が先生方にとっては一番の喜びだったと思います。子供たちにも感謝します。

先生方も子供たちも、活躍する場所は違いますが、それぞれの場所で頑張っているんだと思って、前向きになっていけたらよいですね。



決断のおもさ

千葉ロッテマリーンズの投手、佐々木朗希選手は、4月10日(日)対オリックス戦で13者連続奪三振を含む完全試合を達成しました。プロ野球史上16人目だそうです。そして、次の週4月17日(日)対日本ハム戦で「2試合連続完全試合達成か」という目前の8回完全投球でピッチャー交代が告げられました。「あと1イニングで史上初2試合連続完全試合という歴史に名を残す偉業なのに」と、素人の私は考えてしまいました。

佐々木投手は、8回までに102球を投げていました。前回の完全試合に比べると球数はおおく、井口資仁監督は8回で交代と考えていたそうです。それは、「勝つため」と「選手を守るため」という事です。

「選手を守るために投げさせない」という経験を佐々木投手は高校生の時にも経験しています。第101回全国高校野球選手権岩手大会のことです。甲子園の懸かった決勝、大一番にエースを起用しないという決断を下した大船渡高校の国保陽平監督は、佐々木投手をマウンドに送りませんでした。佐々木投手はこれまでに、準決勝で129球、4日前の試合では延長12回、194球を投じていました。これらの投球数を考えると故障のリスクが高いと判断したという事です。決勝で敗れた大船渡高校は、甲子園出場はかなわなかったこともあり、当時監督の決断は決して単純な「美談」として片付けられるほど生やさしいものではなく、多くのメディアで取り上げられ、賛否両論が繰り広げられました。しかし、この国保監督の決断により、高校野球が「エースと心中」を是としない新時代に入り、球数制限が導入され複数の投手を起用する戦い方が主流となりました。将来プロ野球で活躍するであろう優秀な選手を守る国保監督の考えが支持された結果だと思えます。

当時、もし佐々木投手が決勝に登板していたら将来どうなっていたかと考えても結論は出ません。佐々木投手はプロ野球選手として完全試合を達成し、次のマウンドでも8回までは完全投球をしたという事実があるのみです。この事が国保監督のあの日の決断が正しかったエビデンスになるかわかりません。しかし、何か一つ言えるとすれば「あの日の国保監督の決断」は高校野球のあり方を変え、その上、監督自身の生き方も変えてしまうほどの「おもい決断」だったという事です(国保監督はこの騒動後、監督を辞任したそうです)。

私たちは決断の連続の中で生活をしています。決断の「おもさ」はそれぞれ異なりますが、その結果の責任はたとえ誰かに相談をしたとしても、最終に決断をした「自分」です。

悔いのないような決断をしていきたいですね。難しいですけど。

5月の行事予定



日	曜	
1	日	
2	月	
3	火	憲法記念日 市民平和祭※大越小学校の参加はありません。
4	水	みどりの日
5	木	こどもの日
6	金	
7	土	
8	日	
9	月	
10	火	登校指導③ 交通安全教室・自転車検定 代表委員会②
11	水	あいさつ運動～16日(月)
12	木	埼玉県学力・学習状況調査4～6年
13	金	いきステ会議13:30 クラブ②
14	土	
15	日	
16	月	サツマイモの苗植え1・2年
17	火	田植え5・6年
18	水	心臓検診1年
19	木	歯科健診9:00 クラブ③
20	金	
21	土	
22	日	
23	月	尿検査2次回収日
24	火	校内研修のためB日課
25	水	
26	木	クラブ④
27	金	運動会準備(学校)
28	土	運動会事前準備(地域)
29	日	第10回記念大越地区「ふれあい大運動会」
30	月	振替休業日
31	火	尿検査2次回収予備日

>行事は予定ですので、今後、変更することもございます。どうぞ、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

6月の主な行事予定

日	曜	
1	水	スクールカウンセラー来校9:20
2	木	委員会活動③ 縦割り遊び③
3	金	ジャガイモ掘り1・2年
7	火	家庭訪問(～10日) 代表委員会③ 租税教室6年
10	金	第1回学校評議員会
13	月	幼小引渡訓練
15	水	小麦刈り
16	木	3・4年生社会科見学
17	金	6年生社会科見学
20	月	プール開始
21	火	地域学校保健委員会13:40
29	水	スクールカウンセラー来校13:10
30	木	委員会活動④ 縦割り遊び④幼稚園との交流

今月の生活目標

「明るいあいさつをします」

- ・元気にあいさつをします。
- ・相手の顔を見て心を込めてあいさつをします。



大越小学校の「目指す子ども像」の一つに「自分から明るくあいさつができる、心身ともに健康な子ども」があります。あいさつはコミュニケーションツールとして、社会でも大切なもの。大越小の子どもたちには、ぜひ相手の心に届くような素敵なあいさつのできる人になってほしいと思います。

4月の大越っ子



8日(金)は7名の新1年生を迎えて入学式が行われました。まもなく1か月が経ちますが、すっかり大越小学校に慣れた1年生。疲れも出るころですが、これからも元気に学校に通ってほしいですね。



13日(水)は給食開始日。各教室ともに静まり返っての「黙食」。新しい生活様式を受けての学校生活も、子供たちの学びを止めないため。今年度も感染拡大防止に最大の配慮をしつつ、教育活動を続けてまいります。



18日(月)に小学校・幼稚園合同での避難訓練が行われました。今回は基本の避難経路、避難場所の確認です。自分の命は自分で守れるように。「お・か・し・も・ち」の約束を守って、全員が安全に素早く避難できました。



22日(金)は離任式。3名の先生方が大越小学校に戻ってこられました。別れを惜しみながらも、先生たちからの熱いメッセージはきっと子供たちの心に染み入ったことでしょう。今まで大変ありがとうございました。

お知らせとお願い

- 間もなく大型連休がやってきます。天気も安定し、いろいろなことに挑戦できるよい期間でもありますが、保護者の皆様には、連休明けの子供たちの学校生活の充実を図るためにも、基本的な生活習慣を守り、早寝・早起き・朝ご飯と改めての新型コロナウイルスの感染予防対策を、お願いいたします。
- 5月29日(日)は『第10回記念大越地区「ふれあい大運動会」』が予定されています。雨天の場合は運動会は31日(火)に延期となり、当日は3時間授業の11:15の下校となります。(花咲徳栄高等学校吹奏楽部による演奏会があります。)詳細につきましては、後日、お伝えいたします。



>大越小学校の教育活動の様子はホームページでもご覧いただけます。

※こちらの二次元バーコードからどうぞ →



加瀬市立大越小学校
加瀬市立大越小学校
加瀬市立大越小学校
加瀬市立大越小学校